



京都新聞

平成 17 年 6 月 23 日 (木) 掲載

《抜粋》・・・『お年寄りら 生きがいに』

② レクリエーションの良さを活かした多様な活動

D . スポーツから芸術文化活動まで、幅広い活動メニュー

楽しみながら行う生涯スポーツを通じて子どもの体力づくり、子どもたちに地域の伝統文化を知ってもらうことで地域への愛着心、多様なレクリエーション活動では様々な地域の課題へ「楽しみ」として取り組むことができる。

田野町合併記念誌

「ありがとう」へ掲載

《抜粋》・・・

『子どもたちに伝統的な遊びを』



E . 「楽しい」を通じて子どもたちの成長につながる機会

近年、子どもたちを取り巻く環境の悪化がマスコミにクローズアップされている。「命の大切さ」、「思いやり」、「規律、礼儀」など。レクリエーション・リーダーは、人と人の関係の原点である「レクリエーション支援論」を学ぶことなどから「あそびの城」ではそういった課題へ向けても取り組んでいる。「楽しい！」を通じて、子どもたちの心を育むためにもレクリエーションは一役買えるのです。

《抜粋》・・・

『あそびを通じて心育て

のいち・あそびの城』



広報 のいち

平成 17 年 3 月号掲載

F . 地域イベント、地域行事とも連携した取り組み

「あそびの城」では、様々な地域行事ともリンクすることが容易である。いつもの拠点で遊んでいるものを持ち出し、一歩外へ出向くことで夏祭りの一環としても実施。ハロウィンパーティでは、子どもたちがデイサービスセンターを訪ねお年寄りと触れあうなど。地域とのふれあいや世代間の交流など、大人も含め自分の住む地域を見直すきっかけに、子どもたちがからチャンスをもろうこともレクリエーションを通じて可能となる。